

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	COPD 増悪の経過における強制オシレーション法の有用性
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	山本輝人
研究期間	院長の許可を受けた日 ～ 2023 年 6 月
対象者	2018 年 6 月より 2020 年 6 月までの 2 年間に当院で慢性閉塞性肺疾患（COPD）の増悪を発症した患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	COPD の増悪は健康状態の悪化、再入院の増加、疾患の進行などの原因となる重要なイベントです。増悪症状は通常 7～10 日間続きますがより長く続く患者さんもあり、回復が遅れる方では呼吸機能の悪化がより早く進む可能性が指摘されています。従来の呼吸機能検査は患者さんに最大限の努力を要する負担の大きい検査でしたが近年強制オシレーション法という患者さんの負担がより少ない呼吸機能検査が用いられるようになっていきます。今回の研究では COPD 増悪の発症から回復までの経過で本検査を追加することで得られる利点について通常診療の範囲内で観察研究を行います。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別など）、・転帰（再発の有無など）・問診（息切れ、痰など生活の質に関連した項目）・呼吸機能検査（肺機能、強制オシレーション法）・臨床データ（血液、胸部画像検査など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。

	静岡県立総合病院 呼吸器内科 山本輝人 代表 054-247-6111
--	--